

労働安全衛生の取り組み

Materiality

③ レスポンシブル・ケア活動の推進

労働安全衛生の推進

日油グループは、労働安全衛生の推進を、「5つの安全」に分類したRC活動の中の「労働安全」に関する活動として、活動目標を共有し取り組み、RCマネジメント体制に基づいて、各事業所の協力会社も含めて、グループ一体となった活動を展開しています。

労働安全衛生方針

日油グループは、労働災害の撲滅を目指し、外部業者を含むグループに関係する労働者全員が、安全に安心して働ける職場をつくる決意を明確にし、理想を実現するために、2006年4月に労働安全衛生方針を定めました。この方針のもと、労働安全衛生マネジメントシステムを整備するなど、事業所、工場ならびにグループ会社ごとに、活動を展開しています。

労働安全衛生方針

基本理念

私たちは、化学企業グループとして『安全なくして事業の存立はない』との理念のもと、従業員と地域社会の「安全」と「健康」の確保に努めます。全ての役員ならびに従業員は、レスポンシブル・ケア活動に則り、緊密な業務連携のもとに『安全で安心して働ける職場』を構築し、積極的に労働安全衛生活動を推進します。

基本方針

本方針は、広く一般に公開します。

- (1) 労働安全衛生に関する適切な自主管理システムを整備して、必要な管理と改善を継続します。
- (2) 作業環境の改善と設備の本質安全化を推進し、労働環境の変化を先取りしたリスク低減活動により労働災害の根絶を目指します。
- (3) 関連法規や自主的に定めた規定・基準を遵守します。
- (4) 快適な職場環境の形成に努め、健康保持・増進を支援します。
- (5) 労働安全衛生方針を全従業員に周知徹底するとともに、毎年あるいは必要に応じて見直します。（2015年4月 改定）

労働安全活動(RC活動)

日油の事業所、工場ならびにグループ会社における労働安全活動状況は、定期的に実施されるRC監査の中で確認されます。RC監査には、労働組合やグループ会社からも監査員が参画し、監査とともに、グループ全体のRC活動の活性化を図っています。その結果はRC委員会へ報告されるとともに、労働組合とも共有され、労使一体となった活動を展開しています。また、日油グループでは従業員の安全と健康を確保するため、安全教育が重要であるとの認識のもと、安全衛生管理体制のさらなる充実、安全教育の促進など安全活動の強化を図っています。

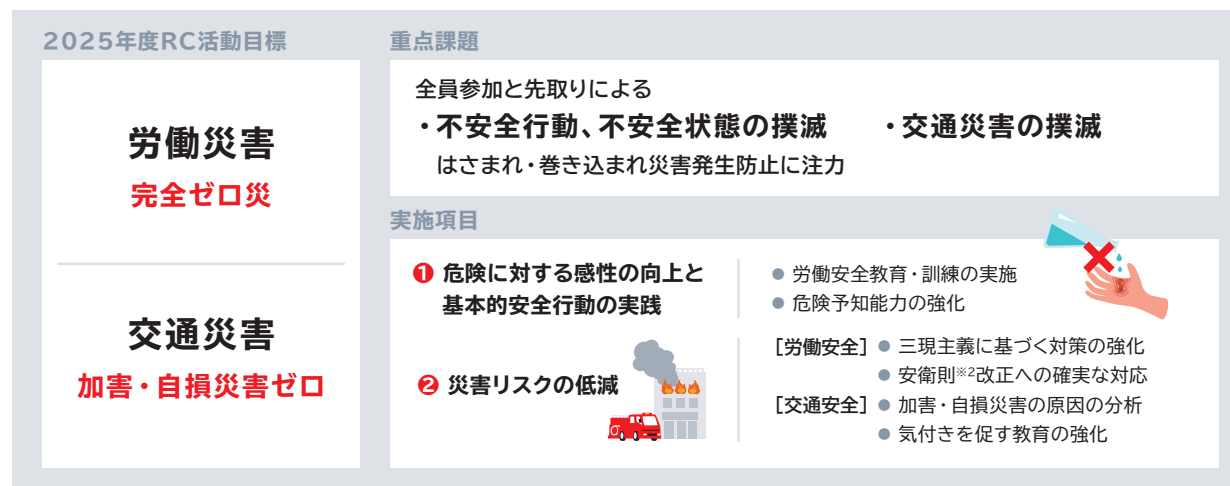
2024年度の安全活動結果と

2025年度のRC活動目標

2015年度より「完全ゼロ災」※1を目標に掲げ、労働災害ゼロを目指して活動を進めています。2024年度は死亡事故を防ぐことができましたが、労働災害が18件発生し、目標達成には至りませんでした。特に、「はさまれ・巻き込まれ」による災害が7件発生しており、引き続きこの分野での取り組み強化が求められています。

2024年度は、RC活動目標の重点課題として「不安

2025年度 労働安全のRC活動目標



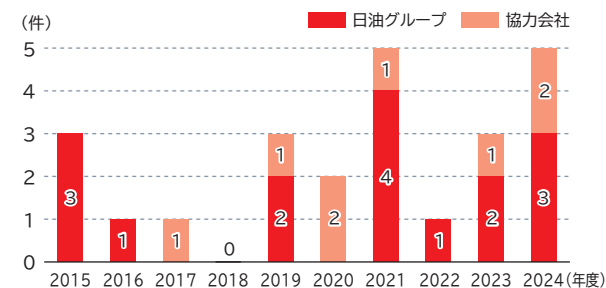
全行動、不安全状態の撲滅」に取り組みましたが、勤続1年以下の従業員による災害が8件発生するなど、安全教育のさらなる強化が必要な状況です。この課題を受け、2025年度は以下の取り組みを重点的に推進します。

- 「基本的安全行動」の実践強化
単なる徹底ではなく、個人が主体的に行動できる「実践」へと進化させます。
- 「はさまれ・巻き込まれ」災害の防止
業務手順の見直し、災害リスクの分析、作業環境の改善を進めます。
- 新入社員を含む体感型教育の早期導入
危険に対する感性を高める体感教育を研修に組み込み、職場での安全行動を促進します。

これらの活動により、「完全ゼロ災」の達成と、安全文

化のさらなる浸透を目指します。

休業災害件数の推移



※1 休業および不休業災害ともにゼロとする日油グループ独自の取り組み目標。

※2 労働安全衛生規則